



商標

Merkado

Εμπορικό σήμα

العلامة التجارية

商標

WG 1 : スローガン・キャッチフレーズの保護 (8名)
 全員別業種を強みに多角的視点で鋭意研究中！

「スローガン・キャッチフレーズの保護」を研究テーマとして活動しています。スローガン・キャッチフレーズを掲げるにあたって事前に商標調査すべきか、商標登録による保護まで必要か、という商標実務担当者が悩みがちなポイントについて、日本、アメリカ、EU、中国の各国で商標戦略策定の根拠となる情報を提案できるよう分析を進めています。研究成果は2023年度の東西部会発表で報告する予定です。



WG 2 : 商標目線の他社動向分析の手法 (13名)
 商標情報を活用して会社に貢献したい強い思いで、ボルテージ全開

商標情報はビジネスとの結びつきが強いことから、的確な収集・分析により、短期・中期の業界動向・他社動向や自社出願や中間処理、更新の分析に広く活用できる可能性があります。他社の出願情報から、自社の出願戦略や営業・販促活動に活用するための方法を分析し、他部門または経営層へ価値ある商標情報を提供することができるように、調査研究を行っています。



WG 3 : ビジネスの多様化と指定商品役務 (8名)
 Leading Edge of Goods & Services

技術やサービスの進化により指定商品・役務の特定が難しいビジネスが増加しています。私達のワーキングではこれらビジネス、特に近年話題となっているNFTやメタバース領域について、諸外国の出願・登録例を参考に事業領域ごとの指定商品・役務の参考記載例をまとめています。



WG 4 : 識別力有無の判断手法と対応 (15名)
 有る無しで 終わらないのが識別力

企業の商標担当者が悩み、困りがちなのが「識別力」の問題です。WG4では「識別力」を他部署にどのように説明すれば分かりやすいか？というスタートラインから、識別力の低い商標の権利化、権利化せず使用する場合の注意点などを事例収集・委員会内アンケート等をもとに分析しています。他部署の方に知ってもらいたい知識や情報は勿論、商標担当者にも改めて考えてほしいポイントについて報告する予定ですので、ご期待ください。



WG5 : コーポレートガバナンスコードと商標 (7名)
 難しくも挑戦的なテーマで、白熱した議論を繰り広げています！

コーポレートガバナンス・コード (CGC) とは、上場企業が行う企業統治 (コーポレートガバナンス) においてガイドラインとして参照すべき原則・指針のことです。2021年の改訂で知的財産に関する項目が盛り込まれました。WG5では、有識者へのインタビュー等を通して、CGC改訂による商標実務への影響や、投資家向けの商標情報の開示方法の調査・研究をしています。



外部活動

マドプロ作業部会 @ジュネーブ&オンライン 商標 5 庁会合(TM5) @ブリュッセル



世界の外交戦を生で体験！



弁理士会との意見交換会@霞が関



両"サイ"藤委員長の握手



No mark,
No life.

2022年度 商標委員会
委員長 齋藤 建彰